

平成29年（ワ）第24号

石木ダム建設工事並びに県道等付替道路工事続行差止請求事件

原告 石丸勇外

被告 長崎県外1名

意見陳述書

2019年11月18日

長崎地方裁判所佐世保支部 御中

原告ら訴訟代理人弁護士 鍋島典子

1、

今年の5月も、例年どおり、こうばるほたる祭りが行われました。山菜おこわに山菜の煮物、ヨモギ餅、ほたる団子、猪肉にスペアリブなど、こうばるの女性たちが手作りした料理が並びました。ホタルかご作りの先生は、こうばるで生まれ育ち嫁いでいった女性です。石木川の生き物たちも展示されました。ドンコ、カワムツ、ムギツク、ヨシノボリ、カワニナ、絶滅危惧種のヤマトジマドジョウもいましたが、子どもたちに人気だったのはアカハライモアリです。今年もたくさんのホタルと来場者でした。

7月17日に開かれた本訴訟の尋問期日で、原告らは、口々にふるさとに対する想いを語りました。

原告の岩本浩之さんは、こうばるで生まれ、病気の父の代わりに家計を支えるために子どものころから耕作してきた畑のこと、戦時中に強制収用されてコンクリートでおおわれてしまった農地を、何か月もかけてコンクリートを打ち砕いて元に戻したこと、山で食べられる木の実を探し、山芋を掘り、わなで小鳥を獲ったこと、川ではウナギをとり、フナやハヤなどを釣ったこと。

石丸勇さんは、「作おれ」、「早苗振（さなぼり）」、「牛にわ」といったこ

うばるには住民同士のつながりが生み出す独自の伝統行事があること、そのつながりが脈々と継がれていて、地域社会が維持され、支えあいながら生きていることを述べました。

岩下すみ子さんは、こうばるに嫁いできて、思いを込めて建てた家、丹精込めて育てている草花、友人との時間、ご近所同士の気の置けないお付き合いなど、こうばるにはすべてのものがそろっていると仰いました。

松本好央さんは、小学校2年生の時の強制測量の時からこうばるの土地を守ってきたこと、こうばるには家族を支える生業があること、こうばるで生まれ育った子どもたちがいて、彼ら彼女らの将来がこうばるにあることを話しました。

石丸穂澄さんは、自然に囲まれ、生まれた時から人々とのつながりのあるこうばるでの生活が不可欠であること、精神的なよりどころであると訴えました。

5人の言葉は、こうばるに住んでいるすべての人々、そして、こうばるから巣立っていった人々の思いを代弁しています。

2、

石丸勇さんも述べましたが、原告らは権利のみを主張して石木ダム事業に反対しているわけでは、決してありません。

調べて、勉強して、それでも、本当に必要なダムとは思えない。何度、県や市に対し、説明を要求しても、自分たちがふるさとを手放さなければならぬ理由を説明してはくれない。

総務省国勢調査及び国立社会保障・人口問題研究所によると、今後、佐世保市の人口は2015年から2045年までの間に20.9%減少すると見込まれています。そのような中で、なぜさらに水が必要になるのでしょうか。これまでの降水量の降雨であれば、石木ダムがなくても洪水被害は生じないということも、長崎県は認めています。では、いつの時のためにダムは

必要なのでしょう。

そもそも、石木ダム事業については、事業計画当初から、住民たちにとっては憤りを覚えることばかりでした。岩本浩之さんは、石木ダムのための予備調査に関する説明会でのやりとりを明確に話しました。県の担当者は、石木ダムの治水目的は、国からの補助金を多くもらうためだと説明したと。県知事は、ダム建設に着手する際には地元の同意を書面で得るとの覚書まで交わしています。

これら石木ダムの建設をめぐる経緯についても、長崎県の対応は社会通念を超えた非常識な対応に終始しています。

今年の9月17日、超党派の国会議員でつくる「公共事業チェック議員の会」は、国土交通省と厚労省へ、石木ダム事業の必要性についてヒアリングを行いました。この会には、長崎県と佐世保市にも参加の要請がされていましたが、県と市は参加しませんでした。結局、ダムの必要性については説明されないままです。なぜ、長崎県と佐世保市は、ダムの必要性を説明しないのでしょうか。

このような「なぜ」を抱いたまま、原告らは、生まれ育ったこうばるの地を、大切に耕してきた田畑を、思いを込めて建てた家や庭を、手放さなければならぬのでしょうか。

本件訴訟は、石木ダム工事の差し止め訴訟です。この訴訟で判断していただきたいのは、この工事が、現に、この弁論終結時において、本当に必要な工事なのかということ、原告らは、ふるさとをダムの底に沈めなければいけないのかということです。

原告らは、これまでもこうばるの地を守ってきたように、これからもこうばるの地を守っていきます。その決意に、裁判官の方々の後押しをいただきたく、お願いいたします。

以上